

# まじめな結実 柔らの道



## 名大4年 杉本さん

全日本学生柔道連盟が20日から10日間、イギリスとフランスで開く指導者研修会の派遣メンバーに、名古屋大柔道部の杉本岳暁さん(24)＝文学部4年、名古屋市千種区＝が選ばれた。柔道強豪大以外からの参加はまれで、旧帝大からは初めて。大学から柔道を始めて二段を取得、主将まで務めた杉本さんは「選ばれて光栄。柔道の普及に貢献したい」と意欲を燃やしている。(広瀬和夫)

高浜久和さんから指導を受けている杉本岳暁さん(左)と名古屋千種区の名古屋大で

## 指導者研修で英仏派遣

杉本さんは中学、高校と運動部未経験。「運動部に入るのは大学が最後のチャンス」と名大入學と同時に練習の厳しさに定評のある柔道部を選んだ。初めは練習についていくだけで精いっぱいだったが「たった一度の運動部経験でやめたら一生後悔する」と強い気持ちで続けた。

週五日の練習は休まず、一年生の終わりに黒帯を取得。黙々と練習する姿で仲間から信頼を得て、三年生夏から主将を任された。最大の目標としていた旧七帝大対抗の団体戦では昨年六月、過去二年最下位だった名大を二位まで引き上げる原動力となった。「団体戦では仲間を信じ、心を一つにして戦うことができた」と名大柔道部での最高の思い出を語る。

同部を指導する原慶の柔道師範高浜久和さん(右)は「運動未経験で続けるだ

## 旧帝大初 中高は運動部経験なし

けでも大変なのに努力を重ね、主将まで務めた。これほどまじめに柔道に取り組んだ学生はいない」と杉本さんを最大限に評価する。

そんな杉本さんの真剣さが、国際柔道連盟の教育理事で五輪金メダリストの山下泰裕さんの目に留まった。「柔道を通じた人間教育を広める意味でも、杉本君のような人材に国際経験を積んでもらいたい」と、今回の英仏派遣メンバーに選ばれるよう推薦の後押しをしたという。

杉本さんは「ヨーロッパの文化に触れ海外の選手と柔道をするのが楽しみ」と話す。四月から民間企業への就職が内定しており、柔道をする機会は少なくなるが「柔道番と道場があれば知らない場所でも柔道はできる。時間を見つけて柔道の魅力を伝えられれば」と話している。